

◆企画名	peer 憩いの場 “はねやすめ”
日 程	2018年11月1日(木)～11月4日(日)
場 所	総合学生会館凜風館1階 学生ラウンジ
参加者数	13名(ピア・サポータ6名、研修生7名)
目 的	

ピア・コミュニティには団体の知名度がまだまだ低いという課題がある。よって、大勢の人が関西大学に集う機会である学園祭を利用し、ピア・コミュニティについて気軽に知ってもらえる場を設けることで、団体への興味関心を喚起し、「おもしろさ」を感じてもらえるようにする。

本学学園祭は、毎年来場者数が多く大いに盛り上がり、正門からメインストリートは出店数が多くたくさんの人でごった返している。しかし、休憩できる場所は限られており、来場者にとって休憩所を見つけ出すことさえ困難であるように思われる。そのため、ゆっくり座って休憩したり買ったものを飲食したりなど、来場者が学園祭をより楽しむことができるよう一息つける場所にする。

内 容

- ・凜風館1階のピアエリア、コラボレーションエリアにコラボレーションコモンズの備品をお借りして、飲食可能で座って休憩できるスペースを設けた。
- ・各コミュニティから企画時や活動中の様子を撮影した写真を提供してもらい、ホワイトボードなどを利用して展示した。
- ・企画場所には常時サポータ・研修生を配置し、ピア・コミュニティに関する質問を受け付けることができるようにした。

効 果

- ・今年度は合計 522 名が来場し、多くの方に休憩所を利用してもらうことができ、ピア・コミュニティの広報に繋がった。
- ・他コミュニティからの参加者と親睦を深めることができた。

改 善 点

- ・休憩所の場所がわかりづらかったように思うため、休憩所の入口に看板を設置する。
- ・写真展示の場所を休憩所から離れたレイアウトにしたが、近くにいた方が休憩しながらも見てもらうことができたかもしれないので、休憩所のそばに写真展示を行うスペースを確保する。

感 想

学園祭企画の準備にとりかかるのが遅く、学園祭当日が近づくとつれてやるべきことが重なってしまい、その結果担当がその他のメンバーに指示を出したりする余裕が無くなり情報共有不足になってしまった。企画の計画をもっと早く行い、担当者以外のメンバーにもしっかり作業を割り振ればさらに良い企画にできた可能性がある。

しかし、学園祭当日は他コミュニティの方の協力もあり問題なく企画を進行することができ、今年度も多くの方に休憩所を利用していただき、休憩所の必要性を確認することができた。また、この企画では運営本部と他コミュニティの参加者が協力して休憩所を運営したので、メンバー間の交流にもなり絆が深まったように感じられる。

今後も、学園祭という多くの人が集まる機会を利用してピア・コミュニティの広報に繋がり、他コミュニティやメンバー間で協力して行える企画を実施したい。